

## 「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」議員別ご回答結果

一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）は、2016年6月1日より全ての国会議員の皆様を対象に、「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」を実施しました。

本用紙は、ご回答をいただいた国会議員の皆さまについて、議員別にその内容を記したものです。がん対策の推進に関心をもっていただき、ご回答をいただいた議員の皆さまに感謝申し上げます。国会議員のご回答一覧は、全がん連ホームページで公開しています。（ホームページアドレス：<http://zenganren.jp/>）

——— 国会議員アンケートご回答結果ここから ———

### 国会議員名

古屋 範子 （衆議院議員／公明／比例南関東）

**問1** 超党派議連「国会がん患者と家族の会」より提案される予定の「がん対策基本法改正案」について、次の臨時国会での早期成立が必要と考えますか？

はい  いいえ  その他

【その他の場合のコメント】

**問2** 第24回参議院議員通常選挙（6月22日公示、7月10日投開票）に関して、政党のマニフェスト（選挙公約）などで「がん対策の推進」に関する内容が重視されるべきと考えますか？

はい  いいえ  その他 （ ）

【その他の場合のコメント】

**問3** がん対策の推進に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

【自由記述欄】

がんになっても働き続けられる社会の構築を目指し、就労支援、相談体制や経済支援の強化、NPO等の育成支援に取り組みます。